

松山市ひとり親家庭等の在宅就業支援

自宅での『仕事+子育て』をお手伝い

市では、仕事と子育ての両立をお手伝いします。技能訓練を通して能力を身に付け、実際に在宅で仕事ができるようにサポートします。訓練期間中の手当も支給します。

【募集期間】9月15日(水)～10月15日(金)

【定員】35人(予定)〈説明会の後に面接で選考〉

【内容】パソコンを使った技能訓練や在宅での実務など▶訓練期間中(平成22年11月～平成24年1月)の手当は、基礎訓練(3カ月)=3万円/月、応用訓練(12カ月)=1.5万円/月+実務に対する報酬

【対象】次のすべてを満たす人=市内在住かつ母子家庭の母または父子家庭の父で20歳未満の子と同居し生計が同一の人▶在宅ワークや訓練に積極的・継続的に取り組める人▶パソコンの基本操作ができる人▶ITを活用してスキルアップしたい人

【募集説明会】

日	9/28(火)	9/29(水)	10/3(日)	10/4(月)	10/12(火)	10/13(水)	10/15(金)	10/16(土)
時間	14:00～16:30～19:30	10:00～14:00	14:00～16:30～19:30	10:00～14:00	14:00～19:30	10:00～14:00	14:00～19:30	10:00～14:00

※説明会当日、履歴書(写真添付)、職務経歴書、ひとり親を証明する書類が必要

【会場】(株)パソナテック在宅就業推進センター(一番町一丁目)▶会場内の託児所(申し込み不要)は無料

【申し込み】募集期間までに、電話(受付時間9時30分～17時)またはホームページで(株)パソナテック内運営事務局 ☎050-8882-5260、

HP <http://www.matsuyama-pt-telework.jp>へ

お問い合わせは、地域経済課 ☎948-6710・FAX934-1844へ



企業支援を話し合った「Invite松山」総会

企業誘致のさらなる推進を目的とした産学官連携(市内21団体)の組織「Invite松山」

① 「Invite松山」企業をおもてなし

松山」を7月27日に設立しました。今後、誘致情報の収集と発信を行うとともに、人材育成や共同研究、事業パートナーの紹介などを充実させ、地域全体で企業を誘致し支援していきます。

② 奨励金制度更に充実

市外企業の新設や市内企業の増設・移設に奨励金を交付します。また、今回から支店や営業所の統廃合などにも利用可能になりました。

【対象産業】製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売業、学

立地用の資産を取得する場合

【要件】大企業など▶投下固定資産総額(施設などの立地に必要な土地、家屋および償却資産の取得価格の合計額)が1億円以上かつ新規雇用者5人以上▶中小企業▶投下固定資産総額が3000万円以

市内の雇用創出へつなげよう

企業誘致と支援で活気ある松山へ

上かつ新規雇用者2人以上

【内容】左表のとおり

種類	奨励金	対象期間	上限
企業立地促進	投下固定資産総額×1.4/100	市外企業の増設・移設	5年
		市内企業の増設・移設	3年
雇用促進	正社員 55万円/人 契約社員 30万円/人 パート 15万円/人	市外企業の増設・移設	5年
		市内企業の増設・移設	1年
			1億円

事業所を賃借する場合

【要件】新規雇用者5人以上
【内容】左表のとおり

種類	奨励金	対象期間	上限
企業立地促進	土地、建物の賃借料×1/2	市外企業の増設・移設	5年
		市内企業の増設・移設	3年
雇用促進	正社員 55万円/人 契約社員 30万円/人 パート 15万円/人	市外企業の増設・移設	5年
		市内企業の増設・移設	1年
			1億円

③ 新規事業や販路拡大を応援

環境ビジネス戦略策定支援

環境ビジネス参入の事業計画策定に補助金を交付します。〈A〉

【内容】市場調査費、連携体制構築などの対象経費の2分の1以内を補助(上限50万円)▶1年度間に限る

まつやま環境ビジネス創出支援

持続可能な環境ビジネスの構築に補助金を交付します。〈B〉

【内容】研究開発費、販路拡大に要する費用などの対象経費の2分の1以内を補助(上限1000万円/年度)▶最大2年度間

国際見本市出展に補助

海外販路の拡大を目的とした国際見本市などの出展に補助金を交付します。〈C〉

【内容】平成22年度中に海外で開催される見本市の出展における会場・輸送・広報費の経費の2分の1以内を補助(上限50万円)

〈共通事項〉

【対象】市内の中小企業またはそのグループ
【申し込み】A・Bは10月6日(必着)、Cは10月29日(必着)までに、直接または郵送で所定の用紙(市ホームページにあります)を〒790-8571地域経済課(市役所本館8階)へ



第1回 番町小学校

児童数 男133人・女133人・計266人(平成22年8月1日現在)

学校・家庭・地域の「絆」

本校は、124年の歴史と伝統を受け継ぎ、小説「坂の上の雲」の主人公 正岡子規や秋山真之、高浜虚子など松山を代表する偉人たちを輩出した学校です。子どもたちは番町地域の住民に見守られ、「番町っ子」として育ちます。その特色の一部を紹介します。毎年、夏休み前には、やぐ

たちに手を引かれて元気に走る姿が見られます。3月に実施するのは、「城山サーキット」。秋山兄弟生誕地から松山城に登り、途中、正岡子規に関するクイズなどに答えていきます。最後に公民館で食べるカレーライスをやうどんは、疲れた体を温め、親子で楽しめる1日となります。



地域一体で盛り上がる盆踊り

らを組みちようちんを張り巡らせ、夏祭りを行います。浴衣に着替えた子どもたちは、おじいちゃんおばあちゃんと一緒に踊り一体感を味わいます。公民館と共催の秋の運動会では、運動場にたくさんの方が集まり、大盛況。おじいちゃんおばあちゃんも子ども

また年間を通し「放課後の居場所づくり」を行っています。地域住民や保護者がボランティアで放課後の子どもたちを見守るシステムで、子どもたちは運動場や体育館でのびのびと遊んでいます。このように、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちを育て、それぞれの「絆」を強める活動を続けています。

松山っ子の声

「これからも、いっぱいほかほかあそびをしたいです。」「(1年生男子)」
「いつも見守ってくださってありがとっございませう。おかげでいつも安心して遊ぶことができます。」「(3年生女子)」



運動会で太玉を転す児童と地域住民

お問い合わせは、地域経済課 ① ☎948-6710・FAX 934-1844 ② ☎948-6549・③ ☎948-6710・FAX 934-1844